

『国際問題』 ウェビナーの御案内

『人の移動』がもたらす今日的課題：難民・移民を論じる

2024年9月の『国際問題』ウェビナーでは、『人の移動』がもたらす今日的課題：難民・移民をテーマとする『国際問題』誌2024年8月号の著者が、それぞれの考察を踏まえて、執筆時以降の最新の動きや他の執筆者の分析との関連を含めて議論し、特集テーマをさらに深く掘り下げます。同号の概要は以下のとおりです。

コロナ危機で一時的に途絶えた国境を越える人々の往来は、再び活発化しており、移動元国の周辺国、移動先国の社会・政治により大きな影響を与えるようになっている。ロシア・ウクライナ戦争とイスラエル・ガザ戦争は今も多くの避難民を生み出しており、アジアでもミャンマーの内戦継続により難民の発生が周辺国で問題化し支援を必要としている。他方、難民・移民の受け入れ問題は、現在の米国の分極化する政治状況では合意形成が困難な状況であり、英国では難民申請者をルワンダに移送する法案が政治争点化している。8月号では、難民・移民の著しい増加に対応することは国際的な人道問題になっているにもかかわらず、その対応に受け入れ各国が苦慮する現状を明らかにし、問題解決への課題を検討したい。

1. 日 時： 2024年9月20日（金）16:00-17:15

2. 申込登録： 参加をご希望の方は下記の URL よりお申し込みください。（視聴無料）

https://us06web.zoom.us/webinar/register/4217183304093/WN_xsGnqvJhRsmwzdxAUbBnrg

3. 登壇者：

INTERNATIONAL AFFAIRS
国際問題
Webinar

『国際問題』 ウェビナー

『人の移動』がもたらす今日的課題：難民・移民を論じる
2024年9月20日（金）16:00～17:15

 <p>瀧澤三郎 東洋英和女学院大学名誉教授、 ケア・インターナショナル・ ジャパン副理事長 元「レター 巻頭トピックス」： 発送の転換が求められる難民・ 移民問題</p>	 <p>錦田愛子 慶應義塾大学法学部教授 イスラエル・ガザ戦争から 見るパレスチナ難民問題 閉ざされた国境と UNRWA 解体論</p>	 <p>梅川健 東京大学大学院 法学政治学研究所教授 2024年アメリカ大統領選挙 と移民政策</p>	 <p>中山裕美 東京外国語大学大学院 総合国際学研究院教授 移民問題をめぐる互恵的 制度構築に向けた EU の試 みと限界</p>	 <p>中西嘉宏 京都大学アジア・アフリカ 地域研究科准教授 戦うか、逃げるか、困窮か ：ポスト・クーデターのミャンマー と「人の移動」</p>	 <p>大道寺隆也 青山学院大学法学部准教授 ロシア・ウクライナ戦争と 避難民：受入や支援の持続可能性</p>
---	--	---	---	--	---

◎本ウェビナーは『国際問題』2024年8月号執筆者にご登壇いただきます。左よりご登壇順。

4. 言 語： 日本語

5. お問い合わせ： km-webinar@jia.or.jp 担当助手：西村

※JIA 会員の方（個人会員・法人会員・図書館会員）は、後日アーカイブの視聴が可能です。ログインしてご利用ください。